

ドクター メモ

脳こうそく

危険因子を減らし、

予防に努めましょう

脳には多くの血液が流れており、脳の働きに必要な酸素や栄養を供給しています。この血液が流れている血管が詰まったり、破れたりして起こる病気が脳卒中で、脳血管障がいともいわれます。脳の血管が詰まる脳こうそく、脳内の血管が破れる脳出血、脳表面の血管にできた動脈りゅうなどが破裂するくも膜下出血があります。最近では脳こうそくが増加しています。以前は、脳卒中が日本人の死因のトップでしたが、現在はがんや心臓病に次ぐ第3位となっています。しかし、運動まひや言語障がいなどの後遺症が残ることも多く、寝たきりの最大の原因になっています。

脳こうそくの危険因子としては、高血圧・糖尿病・高脂血症やある種の不整脈などの病気や喫煙、多量の飲酒などの生活習慣が挙げられます。危険因子を少しで

も減らして健康管理に努めましょう。また、おのこの病気の治療や生活習慣の改善が、脳こうそくの予防となります。

脳こうそくは早めの治療が重要です。手足や顔面のまひやしびれ、ろれつが回らない、ことばが出ない・理解できない、片方の目が見えない、視野が欠ける、体のバランスがとれないといった症状が突然に起こった場合は、脳こうそくを含めた脳卒中の可能性があるため、一刻も早く専門医を受診しましょう。またこれらの症状が短時間（多くは15分以内）、長くても24時間以内で完全によくなる一過性脳虚血発作という脳こうそくの前ぶれがみられた場合は、後に大きな脳こうそくが起ることにも多いため、症状がなくなっても必ず専門医を受診しましょう。